

## ネイティブ牛タンパク質キナーゼA

Cat. No. NATE-1944

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** プロテインキナーゼA (PKA) は、ATPの末端リン酸をさまざまなタンパク質基質のスレオニンまたはセリン残基に転送する反応を触媒します。この酵素は、触媒サブユニットと調節サブユニットの2種類のサブユニットで構成されています。cAMPが存在しない場合、2つのサブユニットは互いに結合しており、触媒反応は行われません。cAMPが存在する場合、調節サブユニットはcAMPに結合し、触媒サブユニットを解放します。

**別名** プロテインキナーゼA; PKA; プロテインキナーゼ; 3',5'-シクロ AMP 依存性プロテインキナーゼ

### 製品情報

<b>種</b>	ウシ
<b>由来</b>	牛の心臓
<b>形態</b>	溶液から凍結乾燥された成分: 5-10% カリウムリン酸緩衝液、pH 7.5、5-10% EDTA、および 80-90% タンパク質 (ビウレットアッセイ)。
<b>EC番号</b>	EC 2.7.11.11
<b>CAS登録番号</b>	9026-43-1
<b>活性</b>	>0.4 ユニット/μg タンパク質
<b>単位定義</b>	1ユニットは、サイクリックAMPの存在下で、pH 6.5、30 °Cで加水分解され部分的に脱リン酸化されたカゼインに作用して、γ-32P-ATPから1.0ピコモルのリン酸を1分あたり転送します。

### 使用法とパッケージング

**調製方法** 1 mg/ml 以上のストック溶液を水または 0.5 mM シトレートバッファー (pH 6.5) で調製し、-20 °C でアリコットに保存することを推奨します。

### 保管・発送情報

**保存方法** 製品は-20 °Cで保管してください。乾燥固体は、活性の損失を最小限に抑えて常温で出荷されます。乾燥剤と共に-20 °Cで保管すると、タンパク質は年間で<10%の活性を失います。